




<p>企画名</p>	<p>手賀沼親子体験ヨット乗船会 (柏 No.1)</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 NPO 法人 アルバトロスヨットクラブ 問合せ先 森 康行 TEL: 04-7187-2499 Email: yasuyuki_mori@jcom.home.ne.jp ホームページ: http://aycabiko.web.fc2.com/</p>
<p>目的</p>	<p>セーリングを体験しながら手賀沼に親しむ機会を提供する。 セーリングを通して初歩の帆走技術を習得する。</p>
<p>日時</p>	<p>2016年6月4日(土) 9:30~14:15</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>前日準備 AD搬入 我孫子市管理(2艇)曳航、柏市管理(2艇)陸路搬入。 8:30 運営スタッフ全員漁協棧橋前集合。 森より運営スタッフの役割分担について説明。 8:45 役割分担に基づき、各自、準備。 アクセスディンギー4艇、シカール2艇を使用。参加者の乗船時間…15分 9:15 午前の部受付開始 15分の待ち時間の間、運営スタッフがライフジャケットの着脱指導とロープワーク指導。 9:30 午前の部体験乗船開始。 12:00 午前の部終了。午後は強風により、アクセスディンギー・シカール艇装解除。 12:15~14:15 午後の参加者は、みずすまし号による手賀沼遊覧。 14:15 艇の艇装解除、装備品の整理、棧橋より艇の搬出、 15:00 運営スタッフ全員解散。</p>
<p>参加対象</p>	<p>市内居住の小・中学生と保護者。中学生以上は単独参加可能。</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 73名(大人40名、幼児3名、小学30名)、会員スタッフ 22名</p>
	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>午後の部は、強風によりみずすまし号による手賀沼遊覧に変更となってしまいました。参加者は、水辺から手賀沼の景色を観察することができ十分に満喫できたことと思います。また、次の機会を楽しみにしているようでした。 参加者の声…気持ちよかった。ドキドキ・ワクワクした。ヨットが速くて楽しかった。</p>

<p>企画名</p>	<p>手賀沼親子体験ヨット乗船会 (柏 No.2)</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 NPO 法人 アルバトロスヨットクラブ 問合せ先 森 康行 TEL: 04-7187-2499 Email: yasuyuki_mori@jcom.home.ne.jp ホームページ: http://aycabiko.web.fc2.com/</p>
<p>目的</p>	<p>セーリングを体験しながら手賀沼に親しむ機会を提供する。 セーリングを通して初歩の帆走技術を習得する。</p>
<p>日時</p>	<p>2016年8月13日(土) 9:30~14:30</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>前日準備 柏市管理アクセスディンギー(AD)2艇、柏中央体育館から陸路搬入。 8:00 運営スタッフ全員漁協棧橋前集合。 8:05 役割分担に基づき、各自、準備。 我孫子市管理AD2艇をみずすまし号にのせて運搬。 8:30 AD4艇、シカーラ2艇の艀装準備、救助艇2艇出動準備。 9:15 午前の部受付開始 15分の待ち時間の間、運営スタッフがライフジャケットの着指指導とロープワーク指指導。 9:30 午前の部体験乗船開始。 参加者の乗船時間・・・15分 14:30 午後の部も午前と同様のサイクルを繰り返し終了。 14:45 艇の艀装解除、装備品の整理、棧橋より艇の搬出。 15:30 運営スタッフ全員解散。我孫子市管理AD2艇)、みずすまし号に載せて運搬 16:00 柏市管理AD2艇、柏中央体育館は陸路返却。</p>
<p>参加対象</p>	<p>市内居住の小・中学生と保護者。中学生以上は単独参加可能。</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加70名(大人30名、幼児7名、小学33名) 会員スタッフ17名</p>
	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>天気は東北東の風2~3m/Sで絶好のセーリング日和で実施できたので、参加者は十分に満喫できたことと思います。 参加者の声…①楽しかった。②感動した。③ヨットが速くてスリル満点だった。 ④水辺から見る手賀沼の景色は今まで以上に素晴らしかった。</p>

<p>企画名</p>	<p>手賀沼周辺の史跡巡りと船上よりの景観を楽しむ</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 大堀川の水辺をきれいにする会 問合せ先 中野一字 TEL: 090-1208-8680 Email: nakano@road.ocn.ne.jp ホームページ: http://ohorigawa.ciao.jp/</p>
<p>目的</p>	<p>大堀川の注ぐ手賀沼の歴史と現状を陸上、水上からつぶさに知り学ぶ。皆さんに手賀沼に親しみを感じて貰い、保全に目を向けて頂きたいと企画しました。</p>
<p>日時</p>	<p>2016年9月25日(日) 9:00~12:00</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>【見学ルート】 我孫子駅南口—嘉納治五郎別荘跡 —三樹荘—杉村楚人冠記念館 —天神坂—手賀沼公園</p> <p>栈橋より乗船し手賀沼を周遊 —フィッシングセンターで一時下船 —南岸散策 再乗船—手賀沼公園で下船後解散</p> <p>【講師】 我孫子の景観を育てる会 松村定雄さん</p> 
<p>参加対象</p>	<p>手賀沼に興味のある方はどなたでも</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 20名(大人20名) 会員スタッフ 13名</p>
 <p>船上説明風景</p>	 <p>フィッシングセンターにて</p>
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>このところの不調な天候がこの日は幸いにも晴天になりました。 我孫子駅前から徒歩で史跡を訪ね、白樺派の文人たちが移り住んでいた時代について説明を受けました。穏やかな涼風の手賀沼では、跳ねる魚や飛ぶ鳥を眺めながら、手賀沼の生き物の話や、更に利根川東遷や干拓の歴史を興味深くうかがいました。 参加者から「いろいろなお話を聞き勉強になりました。」「講師の方が船中であつと元気に立ったままお話しいただき感心しました」との感想がありました。</p>

<p>企画名</p>	<p>大津川上流域の自然と歴史を歩く</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 大津川をきれいにする会 問合せ先 興石邦夫 TEL: 04-7193-1916 Email: koshiishigm@gmail.com ホームページ: http://myzbe2010.web.fc2.com</p>
<p>目的</p>	<p>大津川の一級河川区間白幡橋～手賀沼河口（7.9km）の豊かな自然を体感して頂き、また史跡・寺社で歴史を学んで頂く。</p>
<p>日時</p>	<p>2016年10月1日（土）9:00～15:00</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>集 合：9:00 東武アーバンパークライン高柳駅前 行 程：高柳駅 9:10⇒9:20 かにうちの森・大津川かにうち橋⇒9:50 大津川白幡橋・大津川緑道⇒10:30 高柳新田馬除土手⇒11:00 神明社・沼南の森（昼食）⇒12:20 廣幡八幡宮・宮根遺跡⇒13:10 船戸古墳地⇒14:10 大津川ひとり橋・手賀沼河口⇒14:50 柏駅東口、解散</p>
<p>参加対象</p>	<p>柏市民</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 15名（大人15名、子ども0名） 会員スタッフ 7名、市職員1名</p>
<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>かにうちの森</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>大津川緑道</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>高柳新田馬除土手</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>神明社</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>船戸古墳地</p> </div> <div style="width: 33%; text-align: center;">  <p>大津川手賀沼河口</p> </div> </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>参加者： ・大津川・周辺の豊かな自然・歴史を訪ねることができ、楽しい1日だった。 ・大津川の清い流れ・緑の岸辺・花と、周辺の斜面林・田畑の景観など、素晴らしい自然があることが分かり、今後歩いてみたい。 ・馬除土手・由緒ある神社・古墳で宮司・ボランティアの説明があり、豊かな歴史を学べ、良かった。</p> <p>スタッフ： ・時々霧雨降ったが本降りはなく、事故もなく、大津川・周辺をあまり知らない市民に素晴らしい自然・歴史を紹介でき、良かった。 ・バスなので大津川の一級河川区間（7.9km）全域を案内できた。</p>

<p>企画名</p>	<p style="text-align: center;">手賀沼船上めぐりと鳥の博物館の見学</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 沼南手賀沼ボランティア会 問合せ先 山木健一 TEL: 04-7191-7568</p>
<p>目的</p>	<p>毎年好評の手賀沼一周の船旅をわかり易いガイド付きで行い、日本にただ一つで纏まった内容の“鳥の博物館”もガイド付きで見学する。住んでいる近くに、“こんなに良い所があるのか”と発見してもらいたい。</p>
<p>日時</p>	<p>2016年10月8日(日) 9:00~12:00</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>手賀沼親水広場水の館玄関前 集合 ⇒ 親水広場船着き場 ⇒ 手賀沼一周の船上遊覧 (ガイドボランティア案内) ⇒ 我孫子市立“鳥の博物館”見学 (博物館職員案内) 《現地解散》</p>
<p>参加対象</p>	<p>柏市の一般市民</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 16名 (大人 16名、子ども 0名) 会員スタッフ 5名</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start;"> <div style="text-align: center;">  <p>手賀沼船上見学</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>手賀沼の鳥たち</p> </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: flex-start; margin-top: 20px;"> <div style="text-align: center;">  <p>鳥の博物館</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>世界の鳥コーナー</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>鳥の起源と進化</p> </div> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 10px;">※我孫子市、鳥の博物館 ホームページより</p>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>鳥の博物館では、職員の方に説明をしていただいた。事前に会で体験し、通常の説明に加えて、注文をお願いしておく、また違った楽しみ方ができたかもしれない。</p>

企画名	手賀沼親子自然観察会 – 手賀沼用水路で魚とり！（柏）
実施団体	団体名 手賀沼水生生物研究会 問合せ先 半沢 裕子 TEL: 090-7243-6720 Email: fukuchang@jcom.home.ne.jp ホームページ: http://suiken.teganuma.org/
目的	手賀沼の水辺の生きものについて、子どもたちや親に知ってもらう。
日時	2016年10月15日（土）10:00～12:00
プログラム・概要・ルート等	手賀沼 沼南側ヒドリ橋もと集合 ・鈴木代表から本日の予定、講師の魚類研究者、川本朋慶さんから挨拶。 ・モンドリを仕掛ける ⇒タモ網で魚採り ⇒モンドリを引き上げ ⇒魚の分類。 ・講師の川本さんによる解説。採れた魚やエビについて、魚の見分け方、外来種(外国産、国内移入種)はどれか、どこから来たのか、特定外来種は飼えないことなど。 ・我孫子市鳥の博物館友の会会長、木村稔さんから、これから手賀沼で見られる鳥類についてのお話。
参加対象	小学生以下は親子参加
参加人数	一般参加 35名（大人 17名、子ども 18名） 会員スタッフ 12名（会員 11名、講師 1名）



←ガサガサスタート
→何がとれたかな？



↑鳥の解説をする木村先生



↑胴長を着て魚を捕獲する手水研会員も

←特定外来生物コウライギギについて説明する川本先生

参加者や実施団体の感想	<ul style="list-style-type: none"> ・雨の多い秋だが、たまたま雨が降らない日が続き、用水路の水位が非常に低かった。それでも、十分な数の魚が捕獲できた。 ・参加者は季節柄少なめだったが、13組中6組がリピーターだった。ご参加感謝。 ・魚種は相変わらず少なめ。この10月に特定外来生物指定されたコウライギギの幼体が捕獲された。ドジョウも幼体のみで成体は捕獲できず。エビ類はやはり外来種のシナヌマエビが優占種になっている。ハゼ科の減り方は衝撃的で数匹しか捕獲できず。 ・導水ビクターセンター寄り水路にコブハクチョウ3羽が棲みつき、人を威嚇。 ・当日確認した生き物/ギンブナ、モツゴ、ツチフキ、ヌマチチブ、ヨシノボリ、ドジョウ、タイリクバラタナゴ、メダカ、カダヤシ、コウライギギ1、スジエビ、テナガエビ、シナヌマエビ、アメリカザリガニ、ミシシippアカミミガメ幼体1、アマガエル。
-------------	--

<p>企画名</p>	<p>こんぶくろ池・キノコの観察会</p>
<p>実施団体</p>	<p>団体名 特定非営利活動法人 こんぶくろ池自然の森 問合せ先 古橋 勲 TEL: 090-9146-4987 Email: furuisao@jcom.home.ne.jp ホームページ: http://konbukuroike.com/</p>
<p>目的</p>	<p>こんぶくろ池公園内にあるキノコの観察を通して公園を市民に知ってもらいたい。</p>
<p>日時</p>	<p>2016年10月16日(日) 10:00~12:00</p>
<p>プログラム・概要・ルート等</p>	<p>毎年、秋恒例のこんぶくろ池キノコ観察会。講師はキノコ写真家の大作晃一さん。大作さんはこの時期日本各地きこの撮影旅に出ています毎年こんぶくろ池のためにいったん山から下りてきて講師として参加していただいています。</p> <p>参加者の中には2歳の子どもを抱っこしたお母さんから、小学生、大学生、女性の参加者も多く、キノコへの関心が広まりつつあることを実感しました。</p> <p>まず初めに大作先生からキノコは菌類の仲間であること、生きている樹木と栄養のやり取りをする菌類、枯れた木や落ち葉を分解する菌類など、菌類の生態についての説明を受けました。</p> <p>ここ数日間はしっかりした雨がなかったせいで少し乾き気味のこんぶくろの森でしたが、子どもたちの生きもの発見力は素晴らしく、ドングリから生えるほんの5mm程度のキノコ(ドングリキンカクキン)なども次々に発見し、大作先生も驚いていました。秋になるとキノコがたくさん生えるイメージですが実は秋になるとだんだんと発生も少なくなるキノコ。でも終わってみれば24種類のキノコが記録できました。</p>
<p>参加対象</p>	<p>こんぶくろ池の自然と、キノコに興味のある人たち</p>
<p>参加人数</p>	<p>一般参加 23名(大人15名、幼児1名、小学3名、大学4名) 会員スタッフ 11名(会員10名、講師1名)</p>
<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;"> <p>大作先生による解説</p> <p>毒キノコの本の著作にかかわった大作先生ですが、今回採集したハタケシメジに似ている美味しそうなクサウラベニタケ、クリタケに似ている黄色いニガクリタケなど毒成分のあるキノコの説明がありました。</p> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  </div>	
<p>参加者や実施団体の感想</p>	<p>また来年にはどんなキノコに会えるのかとてもワクワクします。</p>